

流通業務団地整備事業経営健全化計画の平成23年度実施状況

1 具体的な措置の実施状況

- (1) 平成23年8月に分譲価格及び借地料の価格の見直しをし、分譲価格を約19%引き下げた。
- (2) 既進出企業が定期借地を分譲に切り替えたことにより分譲面積が拡大(約2,300平方メートル)した。また、新規で定期借地による進出(約9,200平方メートル)があり、団地利用率が約83.9パーセントに増加した。
- (3) 平成22年3月31日に策定した流通業務団地整備事業経営健全化計画に基づき、資金不足解消のために一般会計から1億円の繰入れをした。

2 歳入及び歳出に関する計画の実施状況

(単位：千円)

	平成21年度 (第1年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
収入	22,379	122,500	193,612
土地売却収入	0	0	66,677
借地収入等	22,379	22,500	26,935
繰入金	0	100,000	100,000
支出	88,606	14,222	9,902
分譲事業費	2,592	2,811	3,058
支払利息	12,014	11,411	6,844
起債償還元金	74,000	0	0
単年度収支	△ 66,227	108,278	183,710
次年度繰上充用額	3,972,112	3,863,834	3,680,124

3 資金不足比率の状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
資金不足比率	60.6%	67.5%	72.9%

4 今後の公営企業の経営方針

- (1) 進出率100%を目指し、企業進出の促進を図る。
- (2) 資金不足の解消に向けて、一般会計から繰入れを行う。